

第 15 号
昭和59年 6 月 1 日発行
豊中・サンマテオ
姉妹都市協会
事務局 豊中市市長公室
秘書課858-2009



閲覧用

姉妹都市提携20周年親善訪問団

姉妹都市提携20周年親善訪問

昭和38年10月8日に姉妹都市提携を結んで20年が経過しました。

サンマテオ市長から「20周年記念式典に豊中から是非参加を！」との要請文が届き、豊中市から下村市長、渋谷議長が出席することになり、また、当協会でも役員会、総会を開催し福盛協会会長を団長とする訪問団を編成して親善訪問をすることになり、同時に、第11回高校英語弁論大会優勝者・廣岡雅英さん（当時、梅花高校3年生）の派遣も承認されました。

一方、豊中市の少年野球連盟は、過去2年ごとに相手市を訪問し、親善試合を通じて交流を深めてきましたが、今回サンマテオ市少年野球連盟からの招待もあり、選手と指導者が訪問しました。

このように今回は、過去に例を見ない市、協会、少年野球など総勢80人が、7月20日、21日にあいついでサンマテオ市へ向かって出発しました。



日本庭園で（下村市長とローズ市長）



歓迎会で挨拶する福盛会長

〔日 程 表〕

月日(曜)	地 名	現地時刻	交通機関	旅程・宿泊地
7月21日(木)	大阪 発	13:25	NW 004	日付変更線通過後：ロサンゼルス市内観光 (ロサンゼルス泊)
	大成田 着	14:35		
	大成田 発	15:55	NW 002	
	ロサンゼルス着	09:35		
7月22日(金)	ロサンゼルス		バ ス	午前：ナッツベリー・ファーム 午後：ディズニールランド (ロサンゼルス泊)
7月23日(土)	ロサンゼルス発 ラスベガス経由 グランド キャニオン着			グランドキャニオンツアー (グランドキャニオン泊)
7月24日(日)	グランド キャニオン発 サンフラン シスコ着	13:35	R C 815	サンフランシスコ市内観光 ゴールデンゲートブリッジ (サンフランシスコ泊)
7月25日(月)	サンフラン シスコ			午前：サンマテオ市役所表敬訪問 午後：サンマテオ市内見学 歓迎パーティー
7月26日(火)	サンフランシスコ発 マウイ島	09:45	NW 009	自由行動
7月27日(水)	マウイ島			自由行動
7月28日(木)	ホノルル			自由行動
7月29日(金)	ホノルル 発	13:40	NW 015	空路 帰国の途へ
7月30日(土)	大阪 着	15:35	NW 015	

一足早く22日にサンマテオ市入りをした少年野球チーム（団長：田中安純氏、選手30人、指導員19人）はフローレンス・ローズ市長、市関係者等の歓迎をうけ、ホームステイをお願いする米人家庭のメンバーと対面しました。

続いて、旅の疲れもみせず、少年達は午後4時から市内のレークショアパーク球場でさっそ

くサンマテオ・ナショナルリーグ選抜チームと対戦しました。



滞在中の対戦成績は次のとおりです。

- 第1戦 豊中 対 サンマテオ・ナショナルリーグ選抜チーム 9-0
- 第2戦 豊中 対 サンマテオ・アメリカンリーグ選抜混成チーム 18-1
- 第3戦 豊中 対 JYO（日系人青少年指導協会）チーム 10-0
- 第4戦 豊中 対 サンマテオ・アメリカンオールスターチーム 9-1
- 第5戦 豊中 対 日系選抜チーム 1-2
- 第6戦 豊中 対 サンマテオ・ナショナルオールスターチーム 4-0

6戦して5勝1敗の好成績を取めた豊中チームは、練習の成果をいかに発揮し、そのチームワークの良さや投打の冴えで、サンマテオチームを寄せつけませんでした。



そのきびきびとした行動は観衆の注目をあつめておりました。

少年達のベースボールに取り組む真剣な姿と純真で明るく、礼儀正しい態度がサンマテオ市の人々に好感と爽快感を与えたのであります。

訪問団は21日にロスアンゼルスに入り、市内観光、22日にはナッツベリー・ファーム、ディズニールランド等の観光をし、23日にグランドキャニオンを訪れました。10億年の歳月が織り成す、その雄大な大峡谷の姿は私達に自然の偉大さをまざまざと見せつけてくれました。



24日には、サンフランシスコに入り市内観光また世界で最も美しい橋といわれるゴールデンゲートブリッジ（金門橋）を訪れました。

25日はサンマテオ市を公式訪問しました。朝ホテルからバスでサンマテオ市へ向かい、その間約30分、道幅の広い区画の行き届いた、落ちつきのある住宅街に入るとそこがサンマテオ市でした。

緑あふれる街並みの中にサンマテオ市庁舎の瀟洒な建物が目に入りました。

約束の10時30分きっかりに市庁舎玄関に到着し、ローズ市長、ベーカー議員（前市長）、大岩謙二氏（サンマテオ姉妹都市協会会長）、ジム・中田氏、他多数の関係者の方々の盛大な出迎えをうけました。

市議事堂で、ローズ市長の歓迎のあいさつと下村市長の訪問あいさつの後、市庁舎の中を案内してもらいました。

下村市長、渋谷議長、福盛協会会長はローズ市長と共に市図書館の見学に、また訪問団一行はサンマテオ日系市民協会主催の昼食会に出席しました。

中川託爾氏の司会で役員紹介、活動状況、



並びに地域日系人社会の概況説明を受け、昼食を共にしながら歓談し、この後、仏教会を訪問しました。

2時からは市内の日本庭園を見学しました。豊中市から寄贈した五重の石灯籠、噴水などよく庭園にマッチしており、サンマテオ市民の憩いの場となっているようです。

5時からベーカー前市長宅でのカクテル・パーティーに市長、議長、会長、少年野球チームの役員などが招待され、心のこもった手造りの料理を囲み、和気あいあいの雰囲気でした。

7時に市内のベンジャミン・フランクリンホテルで、姉妹都市提携20周年記念祝賀会に全員が参加しました。

各自、胸に名札をつけての入場です。



まず大岩謙二氏（サ市姉妹都市協会長）の開会宣言について、ヒュー・ウェン元市長（現市議会議員、協会理事）から両市の提携にいたる経緯の説明、ローズ市長から「下村市長さんをはじめ、渋谷議長さん、訪問団の皆さん、また少年野球チームの皆さん、ようこそこのサンマテオ市にお越しいただきました。このように盛大に姉妹都市提携20周年行事を開催できますことを誇りに思います」と歓迎のあいさつを受けました。

下村市長から「サンマテオ市長さんをはじめ市民の皆様方の温かいご招待をいただき、議長、訪問団並びに少年野球チームともどもやってきました。豊中40万市民を代表してご挨拶できますことを光栄に存じております。少年野球チームは、今日まですでに3試合を行いました。親善の役割を十分に果たしていると思います。世界の人々が平和と幸せを願っている今日、我々両市の友好と親善が日米両国の永遠の絆となり、ひいては世界平和の推進に大きく貢献するものと確信をいたしております」と答礼の挨拶を行いました。

この後、両市記念品の贈呈を行い懇談に入りましたが、友情の語らいがはずみ、時のたつのも忘れて楽しい一時を過ごしました。

訪問団は、この後ハワイ経由で30日帰国の途につきました。

今回の訪問に先立ち、サンマテオ市議会は7月19日から25日までを姉妹都市週間として宣言し、サンマテオ市民の意識の高揚を図ったのであります。（別記宣言文参照）

20年間の交流を通じて、両市の友好と親善の輪が大きく広がっていることを再認識した心に残るサンマテオ訪問でした。（事務局記）

Proclamation of the City of San Mateo, California

RESOLVED by the City Council of the City of San Mateo, California that;

WHEREAS, the City is a member of the International Sister City Association; and

WHEREAS, the City of San Mateo and the City of Toyonaka have, for the past 20 years, enjoyed an active sister city relationship; and

WHEREAS, the City encourages activities between its sister cities that will foster international goodwill; and

WHEREAS, the City of Toyonaka and its youth baseball league sent a team of 20 boys to participate in a baseball tournament during July of 1979, and San Mateo sent a youth baseball team to Toyonaka during the summer of 1981; and

WHEREAS, the ongoing sister city program between the City of San Mateo, California and the City of Toyonaka, Japan, enhances international peace and understanding; and

WHEREAS, the relationship of the people of Toyonaka and the people of San Mateo has become one of mutual respect and deep affection through these cultural sports and athletic exchanges; and

WHEREAS, the people of San Mateo and the people of Toyonaka have exchanged visits and are welcomed in the home one of another; and

WHEREAS, in the spirit of good sportsmanship, visits of baseball teams are regularly exchanged between Toyonaka and San Mateo; and

WHEREAS, the 1983 visit of the baseball team from Toyonaka coincides with the anniversary of this sister city relationship and the honor of the visit of the Mayor of Toyonaka to San Mateo;

NOW, THEREFORE, I, Florence P. Rhoads, Mayor of the City of San Mateo, California, do hereby proclaim July 19 through July 25 as Sister City week and do call upon the citizens of San Mateo to recognize and participate in any and all events that will be held.

DATED: July 14, 1983



Florence P. Rhoads
FLORENCE P. RHOADS
MAYOR

サンマテオ市宣言

カリフォルニア州サンマテオ市は次のとおり決議した。サンマテオ市は国際姉妹都市協会のメンバーである。また、サンマテオ市と豊中市は過去20年間姉妹都市として友好関係を保ってきた。

また、サンマテオ市は姉妹都市間で国際的な親善活動を積極的に進めてきた。

また、豊中市は少年野球チームの20名の少年を1979年7月にサンマテオへ派遣し、サンマテオ市は1981年夏に豊中へ少年野球チームを派遣した。

また、カリフォルニア州サンマテオ市と日本の豊中市との姉妹都市交流の促進は国際平和と理解を高めている。

また、豊中市民とサンマテオ市民は文化やスポーツ交流を通じ、相互の敬意と信頼を生みだしている。

また、サンマテオ市民と豊中市民は相互に訪問し合い、相手方の家庭に歓迎されている。

また、スポーツマンシップのもと、野球チームの交流は定期的に行なわれている。

また、本年（1983年）の豊中野球チームの訪問は姉妹都市提携記念式典と時を同じくし、豊中市長の親善訪問と同じであり光栄に思う。

したがって今、私、サンマテオ市長のフローレンス・P・ローズは1983年7月19日から7月25日までを姉妹都市週間と宣言し、サンマテオ市民がこれを承認し、予定の行事に参加することを求めるものである。

1983年7月14日 市長 フローレンス・P・ローズ

親善訪問雑感



第11回
英語弁論大会優勝者
廣岡雅英

グランドキャニオンに着いたのは、ロサンジェルス市内観光とディズニーランドの人ごみを、2日の日程で過した後でした。

それだけに、10億年の地層の底に光る、濃緑のコロラド河のうねりにひきこまれる思いがしました。大きい。息が止まる。無言です。降り出した驟雨に、その深さと大きさをより印象づけられました。

サンマテオは、幻想的な季節のただ中だっ

たと私は思っています。

なぜ、千昌夫がこんな所に別荘をもっているのか、不思議な気もしましたが、この街で数時間を過ごすうち、それなりに納得できた思いです。

人々の肌合いが、しっかりと落ちついた味わいがあり、こじんまりした家が散在するたずまいは、そこに、ふといる一匹の犬でさえ、好ましく、なつかしいような気がしたものです。

この他、レセプションやパーティで、多くの人々に出会いました。いろんな年齢層の人達に、面倒をみていただきました。お年を召した婦人が、私を孫のように可愛がって下さいました。

10日間の短い期間とはいえ、豊かな経験を私に与えて下さった、豊中市姉妹都市協会の方々に感謝しています。



カリフォルニア教会を指す牧師像



ヨットハーバー



サンマテオ市庁舎（改築中）

目でみるサンマテオ市 (加州住友銀行提供)



ヒルスデール・ショッピングセンター

TOYONAKA ← 提携 概要 → SAN·MATEO

1. 提携年月日 昭和38年10月8日
2. 提携の動機と経過 昭和37年夏、サンマテオ市の高校生サリー・バーコウ嬢他6名がYMCAの交歓学生として来阪の際、当市に立寄り、サンマテオ市と多くの類似点を見つけその事を市当局に話したところ、サンマテオ市も日本の都市と友好関係を結ぶことを望んでいたところから話がトントン拍子に進み、サンマテオ市では市民委員会を結成して、加州住友銀行の助力を得て当市を日本における姉妹都市として推薦、昭和38年2月18日に市評議会で承認された。次いで、昭和38年3月13日正式に文書で申し入れを当市にしてきた。当市では昭和38年7月23日市議会で承認し、同年10月8日、サンマテオ市長らを迎えて、豊中市役所で調印式を行った。
3. サンマテオ市の概要 サンフランシスコ市の南方19.3kmのところであり、面積37.04km²（干潮時）人口80,000人(推定)である。米国

カリフォルニア半島にあり、背後に山、前面はサンフランシスコ湾を望み、風光明媚な高級住宅都市である。

4. 協会設立 昭和39年10月20日
(豊中—サンマテオ姉妹都市協会)

5. 宣言書 アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ市と日本国大阪府豊中市とは、社会的、経済的、背景において多くの共通点を有しており、ここに両市が姉妹都市関係を締結して両市民の交歓を行ない、都市問題、生活様式、習慣及び学術文化の交流を推進することにより、両市、市民相互の理解と信頼を深め、ここにつちかう両市の永遠の友情は日米両国の親善だけではなく、ひいては世界平和達成の理念に寄与することを確信し、両市が姉妹都市として提携することを宣言する。以上の合意をするための両市長が本書に署名する。



カリフォルニア旗



繁華街近くの住宅



サンマテオ市展望



サンマテオ高校



市立図書館



ファッションセンター



日本庭園五重の塔
(豊中市から寄贈)



セントラルパーク

都市提携のあゆみ

【昭和38年10月】

サ市長アルバート・J・ウィスナー氏他7名を迎え、都市提携の調印式。



【昭和39年5月】

藤戸豊中市長、高坂市議会議長、北村市議会議員、岡野教育委員サンマテオ市を公式訪問。

(昭和39年10月)

豊中市展にサ市民の絵画を友情出品。

【昭和40年2月】

サ市で、アフタヌーン・イントヨナカ行事行なわる。

(昭和40年4月)

サ市から寄贈のエル・カミノ・ベルが到着。

(昭和40年8月)

下村隆子嬢(豊高生)サンマテオ高校留学のため出発。

(昭和40年9月)

国際親善都市連盟主催姉妹都市訪問使節団として下村総務部長、西田市議会議員、サ市を公式訪問。

(昭和40年11月)

サンマテオ展開催。

【昭和41年6月】

サ市へ五重の石灯籠を寄贈。

(昭和41年8月)

サ市で日本庭園開園式挙行。

(昭和41年10月)

市制施行30周年記念式典にサ市から、メアリー・アンダーソン女史(会長)、レンハート女史、ジム・中田氏来豊。

【昭和42年2月】

豊和信用組合企画の姉妹都市訪問団一行13名、サ市を訪問。

(昭和42年3月)

菊楽いと女史他3名サ市を訪問、琴の親善演奏

会を開く。

(昭和42年7月)

1967年度ミス日本藤川香代子さんサ市訪問。

(昭和42年11月)

駿河鳳と市内児童図画50点をサ市に送る。

【昭和43年4月】

サ市の日本庭園内に茶室が完成。

(昭和43年7月)

アル・コーブランド氏(ジョージ・スクール校長)夫妻来豊。姉妹校の螢池小学校及び梅花学園を訪問。

(昭和43年8月)

サンマテオ大学に留学していた下村隆子嬢、卒業し帰国。

【昭和44年3月】

ミス豊中若林民子嬢サ市を訪問。

(昭和44年3月)

サンマテオ市創建75周年記念メダル届く。

(昭和44年7月)

スチープン・リード氏夫妻(ジョージ・ホールスクール教諭)姉妹校螢池小学校へ、児童図画、作文、アルバムを届ける。

(昭和44年7月)

竹内市長サ市を公式訪問。

【昭和45年7月】

児童図画116点をサ市に送り、加州住友銀行サンマテオ支店で、サ市児童図画と合同展を開く。

(昭和45年10月)

島岡企画部長サ市を訪問。

(昭和45年10月)

サンマテオ盆栽クラブ19名来豊。豊中盆栽クラブと交歓して盆栽展を観賞。

(昭和45年12月)

サ市児童図画作品46点届く。住友銀行豊中支店ロビーで展示。

【昭和46年7月】

ベレスフォード小学校女子バレーボールチーム来豊。市内小学校、中学校、ママさんチームと試合。

(昭和46年7月)

下村助役、国際地方自治体連合1971年度国際会議に出席のため渡欧の往路、サ市を非公式訪問。

(昭和46年10月)

市制施行35周年記念サンマテオ市親善訪問団43名、サ市を公式訪問。



【昭和47年4月】

アイアン・キャンベル氏来豊。

(昭和47年4月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和47年4月)

スティーブ・大岩夫妻来豊。

(昭和47年7月)

牧師ルース・クーパー夫妻来豊。

(昭和47年7月)

ガールスカウト・リーダー山下邦子氏他、サンマテオ市を親善訪問。

(昭和47年7月)

1972年度ミスカリフォルニアのサンマテオ大学生キャロリン・ストーン嬢、サ市長のメッセージを携えて来豊。

(昭和47年7月)

熊沢トシコ嬢、サ市を訪問。

(昭和47年7月)

上野小教諭森蔭覚子氏、サ市訪問。

(昭和47年8月)

歯科衛生士ジュリアナ・ヤング嬢来豊。

(昭和47年8月)

植田高三氏サ市を訪問、サンマテオ名誉市民の称号を受ける。

(昭和47年8月)

第3中校長細川博夫妻、サ市訪問。

(昭和47年8月)

豊中央ライオンズ交換学生、ビバリー・トベイ嬢他3名来豊。

(昭和47年11月)

元サ市企画部長、ハロルド・アトキンソン氏来豊。

(昭和47年11月)

元サ市姉妹都市協会会長メアリー・アンダーソン女史来豊。

(昭和47年11月)

サ市紹介のカラーライド138枚届く。

(昭和47年11月)

サ市からエルカミノベルのミニチュアが届く。

(昭和47年11月)

第1回高校英語弁論大会開催。



【昭和48年4月】

ミス・テラー女史来豊。

(昭和48年6月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和48年7月)

豊中ロータリークラブ交換学生、キャロル・ウィスナー嬢他2名来豊。

(昭和48年8月)

豊中南ライオンズクラブ交換学生、デビー・リチャード嬢他来豊。

(昭和48年8月)

パットキャンベル中慰夫妻来豊。

(昭和48年10月)

姉妹都市提携10周年記念親善訪問団来豊。(サ市姉妹都市日本委員会会長エルマー・S、アンディ・アンダーソン夫妻、ジム・中田夫妻)

(昭和48年10月)

サ市姉妹都市協会書記ミス須藤他来豊。

(昭和48年10月)

サ市元企画部長ハロルド・アトキンソン夫妻来豊。

(昭和48年11月)

山口栄一氏サ市を訪問。

【昭和49年3月】

サ市姉妹都市協会会計理事ジム・中田氏来豊。

(昭和49年7月)

豊中ロータリークラブ交換学生シェリン・シャリングハウス嬢他1名来豊。

(昭和49年7月)

昭和49年度サンフランシスコ桜の女王ミスマジョリエ・フジキさん来豊。

(昭和49年10月)

サ市姉妹都市協会役員ジョン・湯本氏夫妻来豊。

(昭和49年12月)

追手門学院大学生下村忠功氏サ市を訪問し、コンドン市長と交歓

【昭和50年4月】

北条町の坂本孝子さん、サ市で1年間勉強の為出発。

(昭和50年4月)

豊中手話サークル役員、内谷泰子さん、サ市を視察し「豊中ナイト」に出席。

(昭和50年7月)

大阪北Y M C A 講師北村裕氏、サ市視察訪問。

(昭和50年7月)

豊中ロータリークラブ交換学生スコット・ベニンゴーベン君他2名来豊。

(昭和50年7月)

豊中ロータリークラブ交換学生林英明君サ市を訪問。

(昭和50年7月)

豊中ライオンズクラブ交換学生レス・ベテンコート君来豊。

(昭和50年7月)

4 H クラブ員ジム・ウェルチ君他3名来豊。

(昭和50年8月)

下村忠功氏留学のため渡米。

(昭和50年9月)

サ市姉妹都市協会役員ジム・中田氏来豊。

(昭和50年10月)

サ市姉妹都市協会日本委員会会長ジョン・湯本氏来豊。

【昭和51年6月】

下村市長夫妻、アメリカ建国200年、姉妹都市提携13周年、日本庭園10周年を機にサ市訪問。



(昭和51年7月)

豊中ロータリークラブ交換学生村司弘美さん他1名、サ市を訪問。

(昭和51年7月)

豊中ロータリークラブ交換学生スティーブ・トランメル君他2名来豊。

(昭和51年7月)

豊中ワイズメンズクラブ12名がサ市を訪問。

(昭和51年8月)

アメリカ4 H クラブの女子学生ミッシェル・モーザさん来豊。

(昭和51年8月)

田中健三氏サ市を訪問。

(昭和51年10月)

エルマー・S・アンダーソン牧師から油絵が届く。

(昭和51年10月)

日系市民協会の柑本夫妻、ドッカー夫妻が来豊。

(昭和51年11月)

サ市姉妹都市協会日本委員会会長ジョン・湯本氏が来豊。

【昭和52年1月】

セントラルパークの日本庭園へ水飲み用噴水を贈る。ジム・中田氏来豊。

(昭和52年2月)

大阪新聞社藤井次長同社創刊55周年を記念してサ市へ取材のため訪問。

(昭和52年4月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和52年4月)

日本語図書1,700冊をサ市へ寄贈。

(昭和52年5月)

ジミー西村夫妻、新婚旅行の途中豊中市へ来訪。

(昭和52年6月)

豊中の三ロータリークラブが夫人同伴でサ市を親善訪問。

(昭和52年8月)

日本とアメリカのライオンズクラブ交換学生4名が豊中市を表敬訪問。

(昭和52年8月)

サ市から「友情のしるし」として756冊の図書の寄贈を受けた。

(昭和52年8月)

豊中サンマテオ姉妹都市協会会長 市村善次氏逝去。

(昭和52年9月)

姉妹都市協会会長に広石幸八郎氏が就任。

(昭和52年10月)

カリフォルニア州オロビル市からバージニア・グレイ女史が来豊。

(昭和52年10月)

サ市姉妹都市協会日本委員会会長ジョン・湯本氏が来豊。



(昭和52年10月)

大岩ハマエ夫人来豊。

(昭和52年11月)

サ市から友情の絵画25点が届き、豊中市の文化振興会館で展示。

(昭和52年12月)

サ市で生まれ育った北陸学院の教師テール・マイヤー氏が来豊。

【昭和53年2月】

アトキンソン夫人来豊。

(昭和53年3月)

田中健三氏 絵画交流の件でサ市を訪問。

(昭和53年3月)

稲津美代子・典子さん勉強のため、サ市を訪問。

(昭和53年3月)

サ氏の元小学校先生アミー・ケーラーさん他1名来豊。

(昭和53年5月)

サ市のロータリークラブ会長ウィリアム・ケニー氏夫妻来豊。

(昭和53年6月)

古沢信男氏夫妻、サ市訪問。

(昭和53年7月)

向野信隆氏夫妻、サ市を訪問。

(昭和53年7月)

豊中三ロータリークラブの交換学生伊藤益江、増本純子さんが1ヵ月間、サ市を訪問。

(昭和53年7月～8月)

ラボ国際交流活動として豊中市の学生14名がアメリカ各地で交流活動。

(昭和53年10月)

古沢啓子さん勉強のため半年間サ市へ滞在。

(昭和53年10月)

サ市姉妹都市協会日本委員会会長ジム・中田氏来豊。

(昭和53年10月)

サンマテオ市長 ジョン・F・コンドン氏が逝去。

【昭和54年3月】

ジム・中田氏来豊。

(昭和54年7月)

アメリカの4Hクラブ高校生4名来豊。

(昭和54年7月)

キャロライン・ジョーンズ嬢来豊。

(昭和54年7月)

豊中の三ロータリークラブの交換学生として、ビクトリア・モア嬢来豊。

(昭和54年7月)

豊中少年野球チームが桑村団長以下31名がサ市へ親善訪問(親善5試合、キャンプ、ホームステ

イ)

(昭和54年7月)

ロータリークラブ交換学生志保川さん他2名、サ市を訪問。

(昭和54年7月)

豊中のラボ国際交流メンバー13名がアメリカ各州を訪問。

(昭和54年8月)

豊中の家庭婦人グループ10名、サ市訪問。

(昭和54年8月)

豊中ライオンズクラブの交換学生ビル・モローさん来豊。

(昭和54年8月)

ハワイのインターナショナル・クリスチャンスクールの児童13名来豊。

(昭和54年10月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和54年10月)

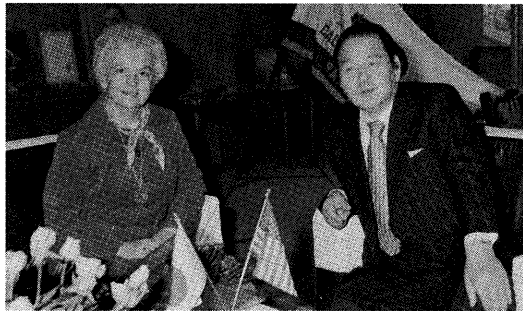
嶋和彦君、アメリカの教育システム勉強のため4ヵ月間サ市で滞在。

(昭和54年11月)

広石姉妹都市協会会長を団長とする訪問団36名が公式にサ市を親善訪問。

(昭和54年11月)

サンマテオ市長ジェーン・ベーカー女史が豊中市を公式訪問。(市長招宴、協会歓迎会、観光)



(昭和54年11月)

サ市の日本庭園へ1,000ドルの案内板を寄贈。

【昭和55年4月】

ジム・中田氏来豊。

(昭和55年5月)

サ市姉妹都市協会日本委員会会長ケンジ・大岩夫妻が来豊。

(昭和55年5月)

アン・清村さん他2名来豊。

(昭和55年5月)

豊中市のロータリークラブ交換学生アン・ケニーさん来豊。

(昭和55年5月)

ジョン・湯本氏から豊中の市制施行当時の貴重な「豊中市内名勝はがき」が届く。

(昭和55年7月)

豊中市のロータリークラブの事業として、浅井直美さんサ市訪問。

(昭和55年10月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和55年10月)

ジョン・湯本氏の親戚サツキ・トミネさん他1名来豊。

(昭和55年10月)

姉妹都市協会会長に福盛佐一郎氏が就任。

【昭和56年4月】

サ市へ豊中ナイト用カラースライドを送付。

(昭和56年6月)

ジム・中田氏、少年野球チーム来訪に伴う事前打合せのため来豊。

(昭和56年6月)

豊中ロータリークラブの交換学生カロール・ケニーさん他1名が来豊。

(昭和56年7月)

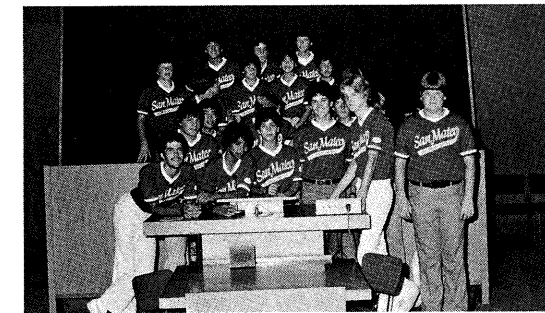
YFUの交換学生キャレン・シャーさん来豊。

(昭和56年8月)

ロータリークラブ交換学生菊田恵子さんサ市訪問。

(昭和56年8月)

豊中市少年野球部の招きでサ市の少年野球チーム一行40名来豊。ジム・中田氏同行(市長に表敬、親善5試合、協会歓迎会、見学ホームステイ)



(昭和56年10月)

ジム・中田氏観光に夫妻で来豊。

(昭和56年12月)

豊中市姉妹都市協会前会長 広石幸八郎氏逝去。

【昭和57年1月】

サンマテオタイムス編集委員トーマス・ポウエル氏来豊。

(昭和57年3月)

大阪YMCAの中学生11名アメリカ体験学習ツアーでサ市訪問。

(昭和57年4月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和57年6月)

サ市へ日本のホームドラマカセットテープ送付。

(昭和57年8月)

ジム・中田氏来豊。

(昭和57年8月)

豊中ライオンズクラブ交換学生カレン・メリーボッシュさん来豊。

(昭和57年10月)

ケンジ・大岩夫妻来豊。



(昭和57年11月)

ジム・中田氏来豊。

【昭和58年7月】

サ市ディック・マーリング夫妻、ノリアキ・中村夫妻来豊。

(昭和58年7月)

姉妹都市提携20周年を記念して、サ市を親善訪問。

①下村豊中市長、渋谷議長、姉妹都市協会福盛会長(市役所表敬訪問、市長招宴、市内見学、祝賀会)

②親善訪問団(福盛団長以下30名)

(市役所表敬訪問、市内見学、祝賀会)

③豊中市少年野球チーム(桑村団長以下49名)

(祝賀会、親善野球6試合)

④第11回高校英語弁論大会優勝者・廣岡雅英さん

(市役所表敬訪問、市内見学、祝賀会)

(昭和58年8月)

提携20周年を記念し、住友銀行豊中支店がサンマテオ展開催。

(昭和58年9月)

サ市親善訪問団が帰国後写真交換会を実施。

第12回高校英語弁論大会

優勝は東豊中高校の山本千陽君

姉妹都市協会主催の「第12回高校英語弁論大会」が、1月28日午後2時から豊中市民会館で開催されました。

12名の出場者で熱戦の末、山本千陽君（東豊中高校2年）が、栄えある優勝に輝きました。協会の基金事業として、姉妹都市提携しているサンマテオ市へ山本君を親善派遣することになりました。



大会の審査員として、デービッド・ボールドウィン氏、ジェームス・クーラス氏、川合隆子氏、宮城弘善氏、久志助良氏の5名に厳正な審査をお願いしました。

入賞者は次のとおりです。

順位	氏名	学校名	学年
優勝	山本 千陽	東豊中高校	2年
準優勝	横山美由紀	豊中高校	2年
3位	吉池 範子	梅花高校	3年
4位	稲葉さつき	桜塚高校	2年
5位	松本佐登子	小林聖心女子高校	1年



熱弁を奮う出場者



エル・カミノリールベル



入賞者を囲んで審査員、協会役員

故ジム・中田氏を 偲ぶ



豊中市とサンマテオ市の姉妹都市交流の橋渡し役として、永年に亘り多大のご尽力をいただいたジム・中田氏が逝去（S58. 11. 3 PM9:30 現地時間）されてから7ヶ月が経ちました。



昭和44年6月来豊・総会にて

私たちは訃報に接した時、今日までサ市姉妹都市協会日本委員会会長として、また役員としてのご活躍が如何に大きく、またサンマテオ市がどれほど身近に感じたものか…… 悲しみとともに思いを新たにしました。

昭和41年以来毎年のごとく来訪され、その時々のはつらつとした行動、温厚で明るく、また旅行業の仕事の合間の貴重な時間に豊中市を訪問されるなど、姉妹都市交流

の使命感に燃えた人でした。

私達は、ジム・中田氏のご遺志を受けつぎ、協会発展のため、一層の努力をいたさねばと思います。

サンマテオ市の使者ジム・中田氏のご逝去は誠に痛恨の極みではありますが、ここに残された数々の業績の偉大さを偲び、そのご遺徳に心から感謝の意を表するとともにご冥福をお祈り申し上げます。



昭和50年9月来豊、下村市長表敬



基金運用状況

昭和54年から姉妹都市協会の基金制度が発足いたしました。(基金積立規程S55年7月2日施行)

この制度は、親善交流を通じ、青少年の国際感覚の育成を始めとして、協会事業の円滑な運営を図るため設置され、会員の寄附金及び運用収益を積み立て、基金事業として実施しております。

皆様方の深いご理解、ご協力により、現在まで9団体1個人からご寄附をいただきまして、心から厚くお礼を申し上げます。

姉妹都市提携20周年を記念して、昭和58年度には高校英語弁論大会優勝者をサ市へ親善訪問団の一員として、派遣しました。これは規程にもとづき一部基金のとりくずしを行い、基金事業として執行したものです。

今後とも当協会事業の発展のため皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

昭和59年3月31日現在(単位:円)

寄附者	金額	利				息				元利合計
		54年度	55年度	56年度	57年度	58年度前期 (4.1~7.11)	取崩し金 (7.11)	58年度後期 (7.12~3.31)	利息計	
豊中ロータリークラブ (54. 6. 20)	1,000,000	34,747	85,866	93,794	97,776	40,100	△ 352,283	45,435	45,435	1,045,435
豊中商工会議所 (55. 1. 23)	1,000,000	5,526	82,343	86,530	92,012	-	△ 266,411	83,059	83,059	1,083,059
豊中交通安全自動車協会 (55. 7. 28)	1,000,000	-	49,050	83,533	88,718	-	△ 221,301	82,058	82,058	1,082,058
豊中ライオンズクラブ (56. 3. 31)	1,000,000	-	848	41,057	84,364	40,100	△ 166,369	42,532	42,532	1,042,532
豊中南ロータリークラブ (57. 3. 25)	1,000,000	-	-	2,288	40,218	40,100	△ 21,338	43,914	105,182	1,105,182
廣石幸一 (57. 3. 29)	1,000,000	-	-	1,248	40,136	40,100	-	44,956	126,440	1,126,440
豊中中央ライオンズクラブ (57. 4. 6)	1,000,000	-	-	-	41,924	40,100	-	44,757	126,781	1,126,781
豊中南ライオンズクラブ (57. 10. 27)	1,000,000	-	-	-	1,783	40,100	-	41,492	83,375	1,083,375
豊中青年会議所 (58. 9. 24)	1,000,000	-	-	-	-	-	-	1,884	1,884	1,001,884
豊中・大阪国際空港 ロータリークラブ (59. 2. 17)	1,000,000	-	-	-	-	-	-	396	396	1,000,396
基金取崩し残金 (59. 3. 26)	500,000	-	-	-	-	-	-	886	886	500,886
合計	10,500,000	40,273	218,107	308,450	486,931	240,600	△ 1,027,702	431,369	698,028	11,198,028